

幼稚園問題について

高橋 鈍 斎



育委員会において第二幼稚園を休園することを議決したことから、令和3年度は第二幼稚園のみ募集する。

〔質問〕今年7月の保護者説明会資料には、1園を休園した場合のサービズ、教育の他、第一幼稚園休園と記されていた。もう既に決めていたのではないか。

〔答弁〕教育長「あくまでも素案で示したものであり、1園に決めていたかどうかは見解の相違と考える。

〔質問〕園舎が平屋であることが最大の安全策と云うが、これは震災だけを考えているのか。

〔答弁〕教育長「記録を確認したが、そのようなことは申し上げていない。安全管理については二園とも大きな違いはないと考える。

〔質問〕園舎が平屋であることが最大の安全策と云うが、これは震災だけを考えているのか。

〔答弁〕教育長「記録を確認したが、そのようなことは申し上げていない。安全管理については二園とも大きな違いはないと考える。

教育委員会では、第二

〔答弁〕教育長「定例教

幼稚園が幼児教育としてより望ましい平屋建てであることから第一幼稚園休園の結論に至ったものであり、多数決で決めるものではないと認識している。

〔質問〕コロナ禍の中、第一幼稚園休園を即撤回し、3密を避けるべきと考える。

また当初、給食がネットワークとし休園を急ぐ理由と議会で説明したが、その真意を伺う。

〔答弁〕教育長「重要なのは、手洗いやうがいなどの感染予防対策を園と協力して進めていくことと考える。

また、給食がネックで休園を急いだと申し上げた事実や認識はない。給食センターとの度重なる協議を経て提供できる案を保護者にお示したものである。

〔その他の質問〕

- ◎スパシユランド問題について
- ◎市長二期4年間の政策について

デマンド型交通システムの導入について

佐藤 龍彦



事業者の現状について、認識を伺う。

〔答弁〕市長「市内タクシー事業者に確認したところ、ステイホームや観光旅行、ビジネスでの出張などの自粛により、利用者が減少し、大変厳しい状況であると聞いています。

〔質問〕全国・県内各地でデマンド型交通システムが導入されていることについて、所見を伺う。

〔答弁〕市長「デマンド型交通システムは、電話予約など利用者のニーズに応じ柔軟な運行を行う公共交通の二つの形態であり、利用者の需要に応じて時間と路線を柔軟に対応することが可能である。

このことから、中山間地域や集落の点在する地域などの需要において有効であるため、全国・県内の自治体においても導入されていると認識している。

〔質問〕本市のタクシー

〔答弁〕市長「現在、デマンド型交通システムの導入は考えていない。

〔質問〕高齢化を受けて、デマンド型交通システム

〔質問〕本市のタクシー

ムは日常生活に欠かせないものと考えてるが、市民から生活の足を確保してほしいとの声は寄せられているのか伺う。

〔答弁〕市長「各地区において、高齢者の移動手段、生活の足として、多くの課題があるという話は聞いている。

高齢者の生活の足の確保として、高齢者福祉部門で実施している高齢者タクシー利用助成事業や、高齢者等地域ささえ愛互助活動支援事業などの制度の活用も有効と考える。

デマンド型交通システムを導入するには、厳しい財政状況の中、多額の予算が必要となることから、総合的に判断しなければならぬと考えている。

〔その他の質問〕

- ◎スパシユランドについて
- ◎本市の教育について
- ◎女川原発再稼働について